

愛仁会リハビリテーション病院 広報誌

あいりハ plus

再び
その人らしい
生活に



特集 リハビリ最前線

vol.4 疾患別のリハビリテーション～脳卒中の事例～

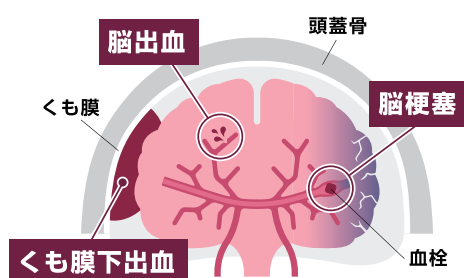


vol.4 疾患別のリハビリテーション ～脳卒中の事例～

当院では、脳卒中などの急性期治療を受けた後に、体力や機能を回復させるための専門的なリハビリテーションを行っています。リハビリテーションには、理学療法（手足を動かす練習や歩く練習など）、作業療法（日常生活動作の練習）、言語療法（話す練習や食べる練習など）の3種類があり、患者さんの症状に合わせたさまざまなリハビリテーションを行うことにより、在宅や社会への復帰を目指した患者さんを支援しています。

今号では、脳卒中発症からその後起こり得る後遺症に対するリハビリテーションまで、詳しくご紹介します。

脳卒中ってどんな病気？



脳卒中には、脳の血管が詰まる「脳梗塞」、脳の血管が破れる「脳出血」、脳の血管に動脈瘤(こぶ)ができてそれが破裂して出血する「くも膜下出血」があります。脳に十分な血液が届かなくなると、脳の一部が働かなくなり、「手足に力が入らない」、「ろれつが回らない」、「顔のゆがみ」などの症状が突然、身体に現れます。

脳卒中は早期に治療を受けることが大切です。早く病院に行くことにより治療の選択肢が増えて、後遺症を軽減できる可能性があります。また、脳卒中の予防には高血圧や糖尿病の管理のほか、適度な運動やバランスの良い食事が大切です。

脳卒中で起こり得る後遺症

脳卒中の後遺症には次のような症状がみられ、身体や生活に影響を与えます。

麻痺

手足が動かしづらくなり、日常生活で不便を感じる。

言語障害

言葉がうまく出せなかったり、相手の話が理解しにくくなる。

歩行障害

歩くのが難しくなり、ふらつきや転びやすくなる。

嚥下障害

食べ物や飲み物を飲み込むのが難しくなり、むせやすくなる。

これらの症状はリハビリテーション治療で改善することが見込まれるため、早期に医師や専門家に相談し支援を受けることが大切です。

チーム医療で質を重視したリハビリテーション医療を実践



診療部
中島 敦史 部長

当院には現在、脳神経外科や脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科などを専門とする医師19人（その内11人が日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医の資格を保有）が在籍し、患者さんのさまざまな課題と向き合いながらリハビリテーション医療を行っています。

そして医師だけでなく、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をはじめ、薬剤師・管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士などが各々の専門性をかけ合わせながら、チーム医療を実践しています。

とりわけ、脳卒中において起こり得る嚥下障害や高次脳機能障害に対する専門的な知識をもった看護師・言語聴覚士も在籍しており、質を重視したリハビリテーション医療体制を整えています。

脳卒中のリハビリテーション

理学療法

身体機能の改善を目指し、短下肢・長下肢装具の装着や免荷式トレッドミルなどの機器を用いて、歩行の獲得や歩行の安定性の向上を目指し歩行練習を行います。

また、身体の麻痺や入院による安静期間に低下した筋力の回復を目指した自重（自分の手足の重さや体重）や負荷をかけた筋力トレーニングのほか、転倒を防ぐために体幹トレーニングなどのバランス練習も行います。



▲免荷式トレッドミルを使った歩行訓練



当院には約80名の理学療法士が在籍していますので、患者さんの症状に応じて、きめ細かくサポートさせていただきます。

理学療法士からの
メッセージ

作業療法

上肢機能の改善を目指し、ものをつかんだり、つまんだりといった手指を動かす練習を行います。元気な手を使わずに、麻痺のあるほうの手を集中的に使うCI療法も取り入れながら、生活の場面において、できるだけ麻痺のあるほうの手を使うことを促します。

また、更衣や食事などの日常生活において必要となる動作の練習を通して、患者さんのできることを増やし、在宅に戻られてからの生活の質の向上を目指します。



▲ものをつまむ練習



3Dプリンターを使って、患者さんの症状に応じた自助具の制作も行っています。

作業療法士からの
メッセージ

言語療法

嚥下障害のある方に対しては、嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行います。検査では言語聴覚士を中心としたチームが食事をとる姿勢や食事形態、摂取方法などの条件を変えながら、適切な食事について検討します。また、電気刺激機器を使用した頸部電気刺激療法を積極的に導入し、在宅に戻られてからも安全に食事を楽しんでいただくことを目指しています。

また、高次脳機能障害（脳がダメージを受けたことにより、注意力・記憶力・言語・感情のコントロール等がうまく働かなくなる認知機能の障害）のある方に対しては、記憶力や注意力の向上を目指した練習を行い、社会復帰を支援します。



▲各種の電気刺激機器



摂食嚥下外来を設け、退院後の方、地域の方々への摂食嚥下に対する支援も行っています。

言語聴覚士からの
メッセージ

当院には、
摂食嚥下障害看護に精通した
認定看護師が在籍しています！



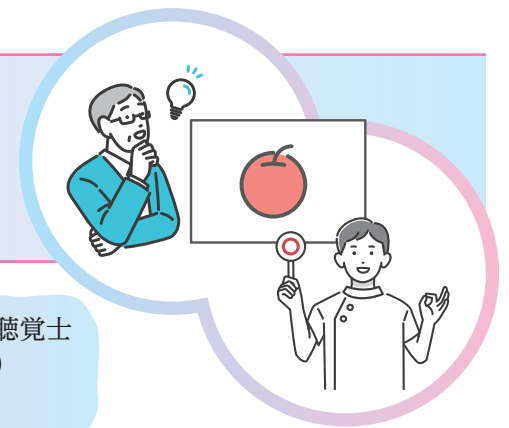
日本看護協会摂食嚥下障害看護認定看護師
馬嶋 きみ代 主任



脳卒中により、ある日突然食べることを奪われる苦痛は図りしれません。食べることは単に栄養補給だけでなく、喜び、味わい、美味しい、楽しいなど、過去の記憶を想起させ、その人らしさ、生きる人生そのものです。看護では患者さんやご家族に寄り添いながら、チーム一丸となって、口から食べることを支援いたします。

また、ご自宅に帰られた後も患者さんやご家族が安全・安心に食べ続けられるよう、摂食嚥下外来においてフォローさせていただきます。

当院には、
失語・高次脳機能障害に精通した
認定言語聴覚士が在籍しています！



日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士
（失語・高次脳機能障害領域）
長谷川 勝紀



失語症や高次脳機能障害は頭の中で起こるため、一見しただけでは判別が難しい場合が多いですが、それらの症状を深い専門知識を用いて検出し、その上で患者さんの状態を紐解きながら、コミュニケーション力や注意力・集中力、記憶力などの精神的な活動面に着目した練習やアドバイスを行っています。

患者さんの日常生活がより良く円滑に運ぶようサポートさせていただきます。

当院への入院をご希望・ご検討されている方は、
現在入院されている病院の医師へご相談ください。



次号のテーマは

「疾患別のリハビリテーション～脊髄損傷の事例～」です。

痙縮治療外来のご案内

次のような方はおられますか？

- 手足がつっぱる
- 手指が握ったままになる
- 肘が曲がり、洋服の袖が通せない
- 首や背中が反ってしまう
- 足先が足の裏側のほうに曲がってしまう など



脳性麻痺や脳卒中、脊髄損傷などの後遺症で起こる痙縮（手足の筋肉が緊張しすぎてつっぱる状態になる）で苦しんでおられる患者さんに、専門の医師が診察の上、ボツリヌス毒素注射による治療を行っています。

ボツリヌス毒素注射による治療は、手足の筋肉の緊張を和らげ、動かしやすくなることから、日常生活動作（ADL）が行いやすくなります。また、効果に対する副作用が少ないなどの利点もあります。

手足のつっぱりがある方、そのために装具を使っている方がおられましたら、お気軽にご相談ください。

診療日時

毎週 金曜日（祝日は除く）
13：30～15：00

受診の流れ

診察
（初回投与日決定）

初回投与
（次回投与日決定）



痙縮治療により期待できる効果

- 麻痺側手足のつっぱりや痛みの軽減による日常動作の改善
- 介護負担の軽減

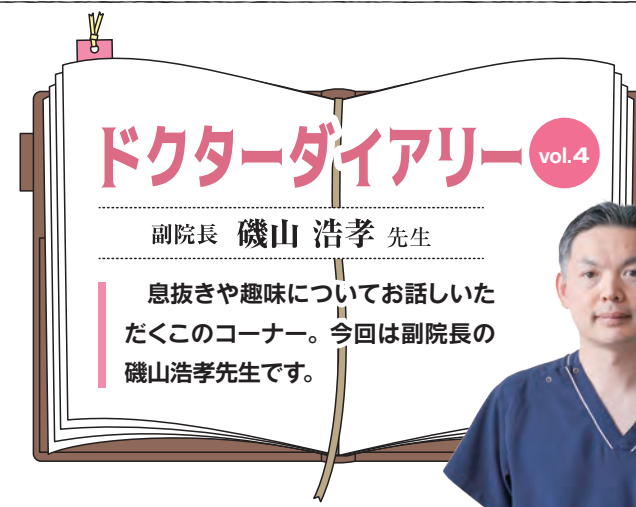
痙縮治療に関するご相談・ご予約はこちらまで

愛仁会リハビリテーション病院

072-683-1212

「痙縮治療外来の予約」
とお伝えください。

ホッとひといき



副院長 磯山 浩孝 先生

息抜きや趣味についてお話しただくこのコーナー。今回は副院長の磯山浩孝先生です。



最近パソコンを買い替えたときにMicrosoft社のWordやExcelを使いたいのでMicrosoft365のサブスクを契約しました。簡単なAIアプリが付属していたので試してみると、「Copilotを200文字程度で紹介して」というリクエストに対して「Microsoft 365のサブスクリプションに新たに追加された『Copilot』は、AIを活用した革新的なアプリです。文章の自動生成、データ分析、スケジュール管理などの機能を提供し、作業の効率化と生産性向上をサポートします」と簡単に出てくるんですね。

次に「医師のイラストを描いて」「日本人にして」とい

たニーズに応じて、画像もわずかな時間で描いてくれます。イメージ通りの画像ではありませんが、知識がなくても使えるようになるAIの船出だと感じました。せっかくなのでAIが描いた画像を紹介したかったのですが、著作権のルールが整っていないようで、便利な時代なのか不自由な時代なのかわからなくなります。代わりに横浜で撮った船出のイメージ写真をお楽しみください。

リハビリテーション医療では、手足の不自由さの動作解析をすることで、最大限どんなことができるかをAIが判定してくれる研究もあるのですが、実用化はまだ先のようです。

薬剤師に聞く！ OTC医薬品を ご存じですか？

薬剤科 | 榎屋根 佳子 科長

OTC医薬品とは、薬局やドラッグストアなどで購入できる医薬品のことです。OTCは英語の「Over The Counter（オーバー・ザ・カウンター）」の略で、医師から処方される医療用医薬品と違い、薬局やドラッグストアのカウンター越しに購入できるという意味です。

OTC医薬品は含有する成分とリスクによって、要指導医薬品と一般用医薬品に分類されます。要指導医薬品は薬局やドラッグストアなどにおいて対面での購入しかできませんが、一般用医薬品はインターネットでも購入することができます。

一般用医薬品には、リスクの程度に応じて3つの分類（第1類・第2類・第3類）があり、それぞれ販売時のルー

ルや情報提供の必要性などが定められています。

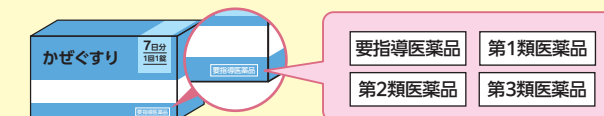
また、OTC医薬品の中には、スイッチOTC医薬品と呼ばれるものがあります。スイッチOTC医薬品は、医療用医薬品として長い間たくさんの人に使われていた比較的副作用が少なく安全性の高い薬で、分類上、要指導医薬品又は第1類医薬品に位置付けられます。

スイッチOTC医薬品は、医療用医薬品と有効成分が同じであるため、服用には注意が必要です。購入時には薬剤師から服薬指導を受けるとともに、病院を受診の際には服用している旨を医師へ伝えましょう。

要指導医薬品：OTC医薬品として初めて販売される医療用医薬品や創薬など取り扱いに十分注意が必要な医薬品

一般用医薬品

- ・第1類医薬品：副作用、相互作用などの項目で安全性上、特に注意を要するものや新規の医薬品
- ・第2類医薬品：副作用、相互作用などの項目で安全性上、注意を要する医薬品
- ・第3類医薬品：第1類・第2類以外の一般用医薬品



要指導医薬品・第1類医薬品は薬剤師のみが販売でき、第2類医薬品・第3類医薬品は薬剤師のほか登録販売者も販売が可能です。

就任のご挨拶

看護部 部長 兼 地域医療部 部長
福井 希代子



この度、看護部長 兼 地域医療部部長を拝命しました福井 希代子と申します。

当院にご入院される患者さまは、何らかの疾患や障がいを抱え、生活のしにくさがある方が多いです。当院の理念でもある“少しでもその人らしい生活に”近づけるよう、多職種チームはもちろんのこと、地域の皆様との連携を図りながら、支援していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

愛仁会高槻在宅サービスセンター長
川上 一美



この度、愛仁会高槻在宅サービスセンター長を拝命しました川上でございます。

これまでナイチンゲールの看護論にある「患者がもてる力を十分に活用できるように支援する」を目指して看護を実施してまいりました。また病院で勤務していた時は、患者様が在宅に戻られてからの表情がとても明るくなっておられる姿を目のあたりにしてきました。

患者様の笑顔を大切に地域の皆さまと連携していきたいと考えておりますのでご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

看護部 副部長
若松 舞



この度、副看護部長に就任しました若松 舞と申します。

患者様が住み慣れた地域でいきいきと、再びその人らしい生活が送れるよう、地域の皆様のお力を借りながら、多職種と連携し、質の高いリハビリテーション医療・看護が提供できるよう尽力してまいります。

若輩者で慣れないことも多いですが、どうぞ、ご指導とご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



JR高槻駅に広告を掲出しています!

JR 高槻駅 大阪方面新快速ホーム(6 番線)に愛仁会高槻エリア10施設の広告を掲出しています。「愛仁会ONETEAM」というキャッチコピーとともに、カラフルなデザインで各施設を紹介しています。広告中央のQRコードからは、10施設のリーメッセージ動画もご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

シャトルバスの運行が始まりました!

2025年4月より、JR高槻駅北-高槻病院間のシャトルバスの運行が始まりました。平日にJR高槻駅北8時20分発からJR高槻駅北到着15時20分着まで、30分間隔で運行しています。無料でご利用いただけ、事前の予約も不要です。愛仁会リハビリテーション病院へお越しの際にもご乗車いただけますので、ぜひご利用ください。



シャトルバスの詳細はこちら



編集後記

「あいりハplus」にリニューアルして今号で4号目となりました!当院のことをたくさん知っていただけましたでしょうか?もっと当院のことを知っていただけるよう、今年度も精一杯努めてまいりますので、引き続きご愛読いただけると幸いです。最後に……、どんな些細なことでも構いませんので、右下の読者アンケートよりご感想をお寄せいただくと嬉しく存じます。どうぞよろしくお願いいたします<(_ _)>

広報室 加藤 友恵

アンケートにご協力ください!



愛仁会リハビリテーション病院

三島圏地域リハビリテーション地域支援センター

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7 TEL 072-683-1212

<https://www.aijinkai.or.jp/reha/>



ホームページ



インスタグラム



フェイスブック



読者アンケート